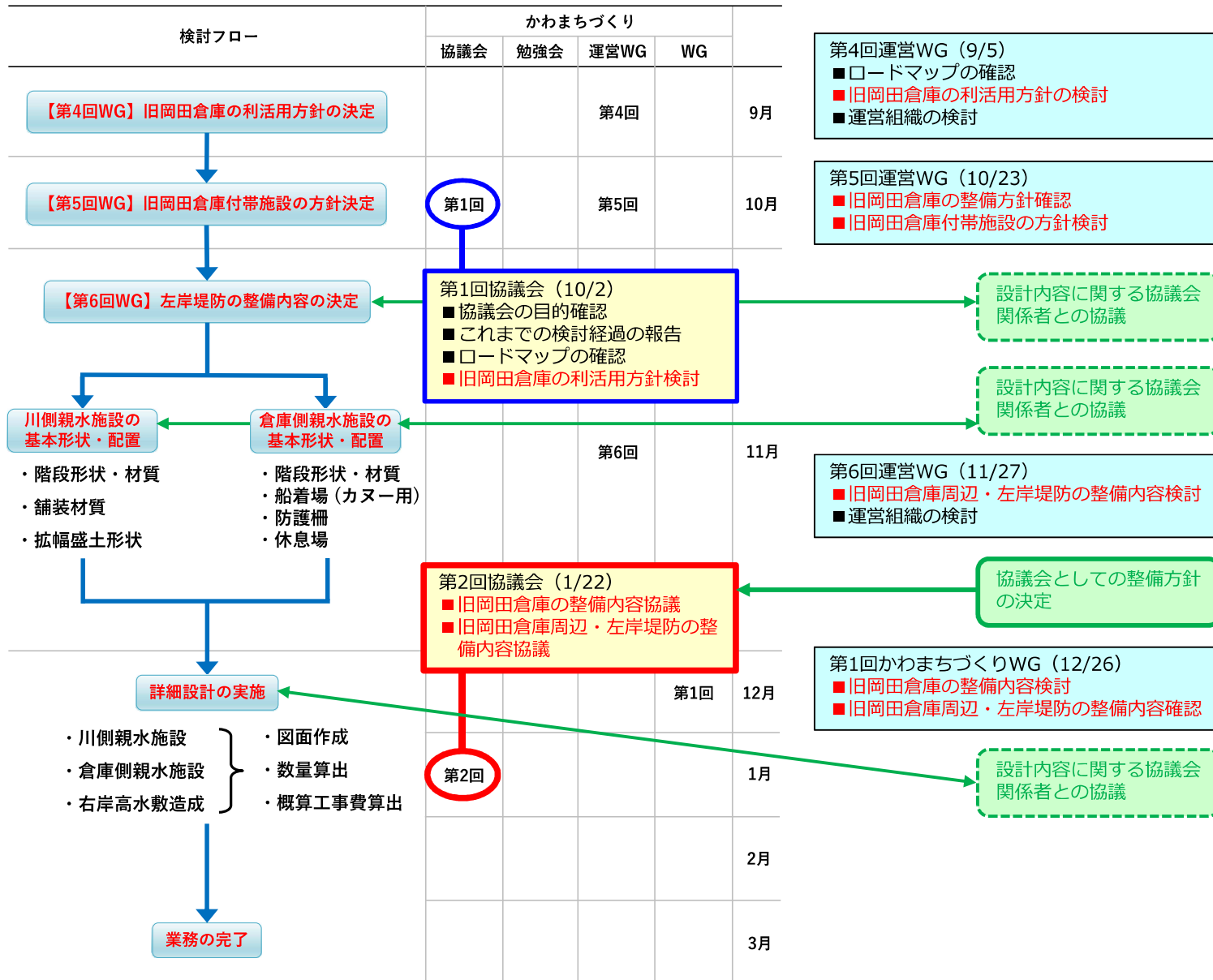


前回協議会及びワーキンググループの 協議結果

今年度の検討状況



第1回かわまちづくり協議会の概要

【開催日及び開催場所】 令和5年10月2日（月） 14:00～16:30 江別市中央公民館3F 研修室2号・3号
 【議事】 かわまちづくり協議会の目的、かわまちづくりに関するこれまでの検討経緯、かわまちづくりの進め方、旧岡田倉庫の利活用方法について

出席委員名簿

氏名	所属等
小篠 隆生	北海道大学大学院工学研究院 准教授
林 敏昭	江別市街地自治会連合協議会 会長
柏村 章夫	一般社団法人えべつ観光協会 副会長
鴻野 徹	江別商工会議所 事務局長
天井 一斗	一般社団法人江別青年会議所 委員
林 匡宏	(まちづくり民間団体) ミズベリング江別 代表
境 珠美	市民公募
武藤 静香	市民公募
事務局	江別市 経済部 商工労働課

協議会での協議結果

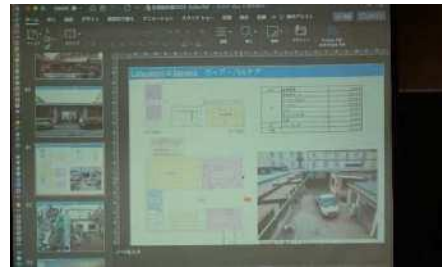
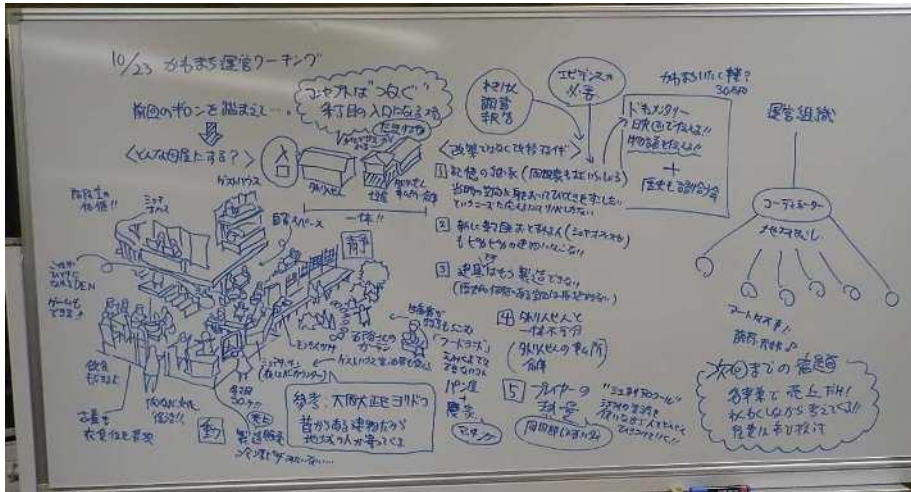
議題	協議結果
旧岡田倉庫の利活用方法	<ul style="list-style-type: none"> “つなぐ”をキーワードにしながら人が集まっていく場にする。 旧岡田倉庫の歴史性や位置付けを踏まえ、食をテーマに地域の歴史性や文化を発信し、日常的に市民や観光客に楽しんでもらえる施設にしていく。 人が集まれる場所、飲食としてどうするかをワーキンググループで議論する。 ワーキンググループでは、事業収支を確認し、どのような収益事業を行っていくのかの議論を行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 設計の調整は、協議会に進捗状況を報告した上で実施する。



第5回運営ワーキングの概要

【開催日及び開催場所】 令和5年10月23日（月） 18:30～21:00 江別市中央公民館3F 研修室2号・3号

ワーキングの実施状況



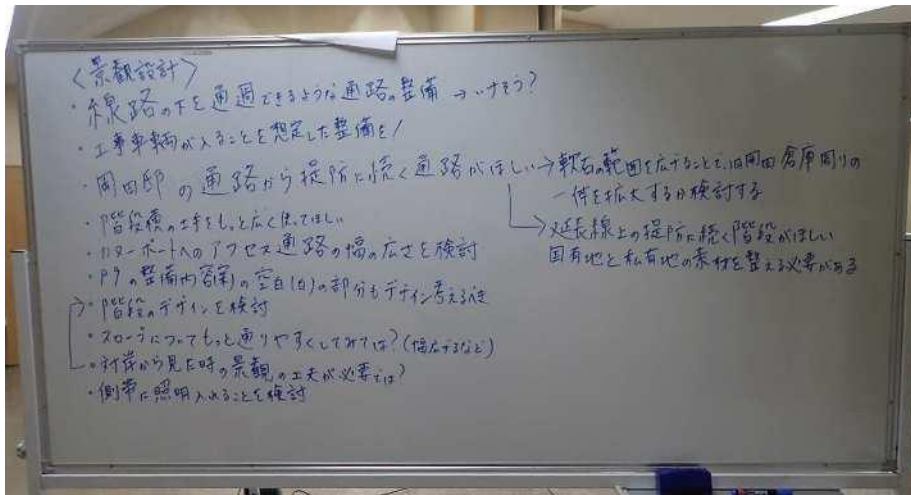
ワーキングでの協議結果

議題	協議結果
旧岡田倉庫の整備	<ul style="list-style-type: none"> 食をメインとした活用を行うため、喫茶店程度の飲食ができるように設計を進める。
付帯施設との一体的な利用	<ul style="list-style-type: none"> 唯一確実にお金が得られるのはカフェ事業になる。 カフェ事業のみだと収益が限られるので、付帯施設にも厨房を設置し、食品の製造、販売やカフェでも提供するといった食の二重構造にすることで、安定した収益、リピーターの確保につながる。 カフェと食品の製造、販売に加えて、もう一本柱となる収益事業があるとバランスが良くなる。 次のワーキングでランニングコストと収益見込みを確認した上で改めて事業の検討を行う。

第6回運営ワーキングの概要

【開催日及び開催場所】 令和5年11月27日（月） 18:30～21:00 江別市中央公民館3F 研修室2号・3号

ワーキングの実施状況



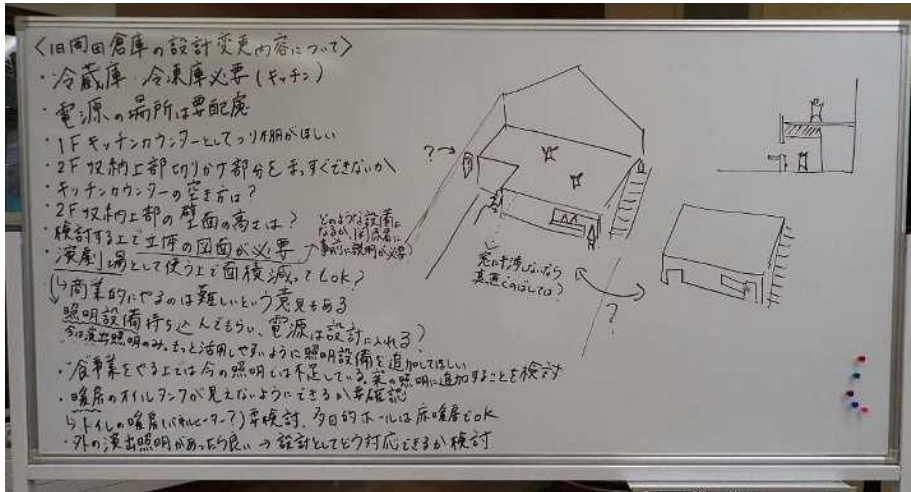
ワーキングでの協議結果

議題	協議結果
千歳川左岸堤防の整備	<ul style="list-style-type: none"> 旧岡田邸前の小道から直接階段で堤防に上がるようにする。 地面の色や素材の視覚的な一体感を持たせる。 自動車が進入しやすいようにスロープや転回場を拡幅する。
事業収支	<ul style="list-style-type: none"> 単なる収益事業ではなく、“つなぐ”というテーマがいつも何か関わってこないといけない。 どういう人がどういう目的をもってやって来ても大丈夫な場所にしてあげられるかが重要。 運営事業者は公募により選定されることから、運営組織の具体的な議論は、今後ワーキングでは行わない。

第1回かわまちづくりワーキングの概要

【開催日及び開催場所】 令和5年12月26日（火） 18:30～21:00 江別市中央公民館3F 研修室2号・3号

ワーキングの実施状況



ワーキングでの協議結果

議題	協議結果
旧岡田倉庫の整備	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトは事務局案で決定とする。 具体的な整備内容については、断面図も確認し、立体的に見て検討する必要がある。 日常的な利用ができるよう暖房方式は床暖房とし、燃料は灯油とする。 飲食提供を行うのであれば、照明はもう少し明るい方が望ましい。
千歳川左岸堤防の整備	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な整備内容は事務局案で決定とする。 意匠を旧岡田倉庫外壁の石材に調和させる。 護岸の緑地にベンチを設置し、居場所を創出する。 江別港の歴史の痕跡を示す。 使用する素材や植栽など詳細については、今後検討を進める。 誰でも川に近づくことができるようにするのがかわまちづくりの醍醐味なので、どこまで安全性を確保して親水性を高めるかを考えていく。

旧岡田倉庫（拠点施設）整備方針（案）

- 旧岡田倉庫の歴史性を踏まえ、“つなぐ”をコンセプトとし、人が集まる場所とする。
- カフェやマルシェなど食をメインとした利活用を行う。
雑穀等の農産物の集積地として繁栄した江別港の歴史性を活かし、江別の食などを提供することで、江別の歴史・文化の発信及び賑わいの創出を目指す。
- 厨房や事務所を付帯施設に設置し、一体的に活用する。